

ご来場ありがとう
ございました！



第37回 横浜開港祭に参加しました！



平成30年6月1日(金)～2日(土)の2日間、「第37回横浜開港祭」が臨港パーク等で開催されました。

本イベントは横浜港の開港記念日である6月2日を中心に「開港を祝い、港に感謝しよう」というテーマの下、横浜市が市民への啓発活動として毎年開催しているものです。

関東地方整備局では、港湾及び海洋環境整備に関する広報活動の一環として、京浜港湾事務所等3事務所のスタッフ総勢約20名が参加し、港湾業務艇「たかしま」による横浜港内見学会や、会場内の展示ブースに広報パネルや「南本牧MC-4鋼板セル」「京浜港ドック」模型を展示して、港湾整備事業等の重要性や事務所の様々な活動の広報を行いました。

また、官公庁艇パレードには、清掃兼油回収船「べいくりん」と航路調査船「べいさーち」が参加しました。

横浜港内見学会では、合計約180名の市民が「たかしま」に乗船され、展示ブースでは、小さなお子様からご高齢の方まで、幅広い世代で昨年を上回る合計500名以上が訪れ大盛況に終わりました。

来訪者の方からは、「大きなコンテナ船を間近で見ることができて感動、港の役割がよくわかった」、「大きなクルーズ船をできるだけ市の中心部に近い岸壁へ」などのお声を頂きました。



(展示ブース)



(「たかしま」乗船会)

